

各種モータを支える巻線技術とその変遷

北沢 一幸 ほか

Kazuyuki Kitazawa and others

1. まえがき

近年、ACサーボモータをはじめ、各種モータの小型軽量化が飛躍的に進んでいる。これには、巻線技術の向上が大きく貢献している。巻線技術においては、巻線の高密度化および導体末端処理（巻線端処理）の合理化を行うのが重要な課題である。このような巻線技術の重要性を認識し、当社では、独自の技術による設備導入および導体末端処理方法の開発を行っている。

本稿では、当社における最新の巻線技術を、この技術変遷とともに紹介する。

* 以下に見出しのみを列挙します。

2. ステッピングモータの巻線工法、
末端処理工法の開発
 - 2.1 直巻線機の開発
 - 2.2 導体末端処理工法の開発
3. 直流モータ巻線末端処理工法の
開発
 - 3.1 開発の背景
 - 3.2 新工法の開発
4. ACサーボモータ用 シリース巻線機
開発
 - 4.1 開発の背景
 - 4.2 シリース巻線機の開発
5. むすび



セット治具
(本文中 図13より)

SANYO DENKI

Technical Report No.2

Nov. 1996